

## 自治労連宣伝原稿

みなさんこんにちは。私たちは、安心できる保育、学童保育、子育て支援の実現を求めて署名に取り組んでいる保育者・学童指導員・保護者の団体です。  
この場をお借りして、宣伝させていただきます。

●日本の保育士基準は75年間改善されていません。国の「子ども未来戦略方針」では、1才児と4、5才児の改善が盛り込まれていますが、実施の時期も内容も明記されていません。

0才の子どもを1人で3人

1才の子どもを6人

4、5才児の子ども30人を1人で

- ・災害があったとき避難させられるとおもいますか？
- ・子どもたち、一人一人の思いを丁寧にきいてあげられると思いますか？
- ・生活してるといろんなことが起こります

おもらししたり、トラブルになったり、自分で出来ない着替えを手伝ったり、出来る様に補助したり、そのあいだ 他の子どもたちは、どうしているか把握することができると思いますか？  
現状アドリブで？

子どもたちを安全に、ひとりひとりの育ちを大切に保育するために、今こそ保育士の配置基準の改善を求めます。

●公立施設は、老朽化が進んで建て替えが必要なことを理由に民営化が進められ地域の中で公立施設と職員が減っています。しかし公立の職員は自治体職員として公立施設に通う子どもたちだけでなく、その地域で、生活するすべての子どもたちの育ちを守り、命を守ることを責務としています。災害時・緊急時においても地域のすべての子育て世帯の受け皿として対応できる施設として公立施設は必要です。

●また、子育て環境はきびしく、貧困や虐待など子育てに問題を抱えている世帯が増える中で公立保育施設は地域の子育てを支援し地域で生活する子どもたちの育ちを守る役割があり地域に必要な施設です。

●今、全国的に保育士不足が蔓延しています。公立施設では、正規の保育士が激減し、その穴埋めとして、非正規の保育士が増えています。しかし、非正規の保育士も給料が低く自立した生活が出来ないため、非正規の保育士も足らず、配慮の必要な子どもへの加配ができなかったり、子どもの受け入れ人数が制限されたりするところもあります。

・保育士が足りないので、仕事を休むことができません、正規も非正規保育士も自分の子どもが熱を出したらどうしよう。自分もインフルエンザやコロナになったらどうしよう

う！と、気が気ではありません。日々の保育は綱渡りです。

現状アドリブで？

●どのような状況においても、保育施設では毎日、こどもたちの健やかな成長と安心安全な保育を目指しています。現在の苦しい状況が改善できるよう、国や府に私たちの声を届けます。是非、署名にご協力おねがいします。